

令和3年度進捗評価シート

伊豆の国市歴史的風致維持向上計画(平成30年7月11日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の推進体制	1
-----------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 伊豆の国市景観形成基本計画等との連携	2
2 「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理	3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 江川文庫収蔵施設建設事業	4
2 江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業	5
3 史跡菰山反射炉保存修理事業・史跡菰山反射炉整備事業	6
4 無形民俗文化財記録作成事業	7
5 地域に根付いている祭事に対する運営支援事業	8
6 (重文)菰山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理等事業	9
7 史跡菰山役所跡保存活用計画策定事業	10
8 史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存整備事業	11
9 史跡公園整備事業「守山中世史跡群」PFI事業	12
10 菰山城跡総合調査事業	13
11 江川邸と菰山反射炉を結ぶ道路の美装化事業	14
12 重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業	15
13 長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業	16
14 民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業	17
15 公共サイン整備事業	18
16 市内民俗芸能・祭典等実施事業	19
17 市民組織の活動費補助事業	20

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	21
2 文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組	22
3 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業	23

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 歴史や伝統文化を生かしたまちづくりに向けて	24
-------------------------	----

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 住民意識の向上	25
2 文化財の保存及び活用に向けた普及・啓発の必要性	26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和3年度								
計画の推進体制			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手								
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様に都市計画課・文化財課が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。計画の推進や事業の実施に際しては、国や静岡県等の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
計画認定後の事業推進に係る評価機関として設置した、伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会から引き続き意見聴取を行う。内部体制としては、協議会事務局である都市計画課と文化財課の連携を強化し、事業の主担当部署である建設課や観光課との庁内協議を必要に応じて行った。											
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない											
状況を示す写真や資料等											
庁内会議の体制 事務局：都市計画課、文化財課 <コアメンバー> 観光課（観光振興部局） 建設課（都市整備部局） 文化財課（教育部局） 都市計画課（計画推進部局）		庁内会議の開催 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.5.14(金) 事務局会議</td> <td> ・新旧担当者の引継・懸案事項確認 ・R3年度事業進捗評価の確認 ・R3年度スケジュールの確認 </td> </tr> <tr> <td>R3.12.16(木) 事務局会議</td> <td> ・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認 </td> </tr> <tr> <td>R4.2.17(木) 事務局会議</td> <td> ・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R3.5.14(金) 事務局会議	・新旧担当者の引継・懸案事項確認 ・R3年度事業進捗評価の確認 ・R3年度スケジュールの確認	R3.12.16(木) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認	R4.2.17(木) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認
開催日	検討内容										
R3.5.14(金) 事務局会議	・新旧担当者の引継・懸案事項確認 ・R3年度事業進捗評価の確認 ・R3年度スケジュールの確認										
R3.12.16(木) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認										
R4.2.17(木) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認										
協議会の開催 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4. 3. 11(金)</td> <td> ・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R3年度の事業進捗・評価について ・意見聴取 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R4. 3. 11(金)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R3年度の事業進捗・評価について ・意見聴取	 事務局打合せ					
開催日	検討内容										
R4. 3. 11(金)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R3年度の事業進捗・評価について ・意見聴取										
		第4回伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会 (写真:令和4年3月11日)									

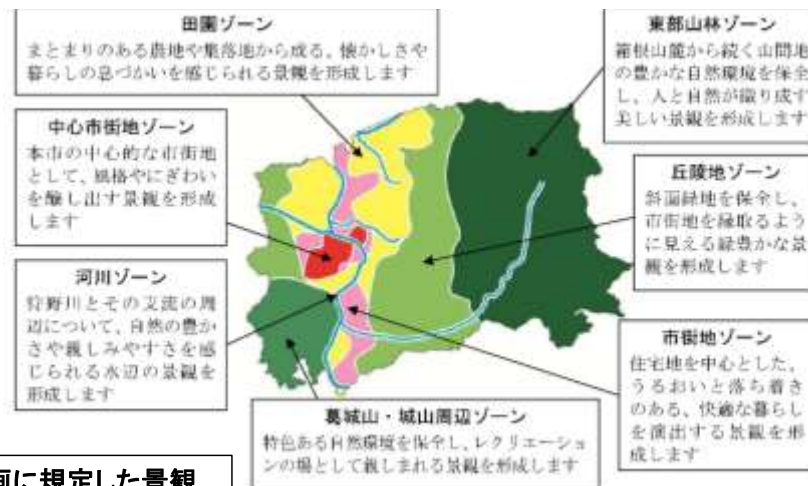
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
伊豆の国市景観形成基本計画等との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	本市の景観計画は、豊かな自然と、人びとの生業と生活によって培われた歴史や文化によって形づくられ、現在に至るまで伝えられてきた固有の資源を市民共有の財産として捉え、今後のまちづくりに活かし、伊豆の国市独自の景観形成を進めることを目的として、市域全体を対象とした方針を位置づけている。計画に位置づけている景観重点整備地区については、歴史的風致維持向上計画に位置づけた重点区域内に入れ込んでおり、既設の歴史文化資源と調和するよう景観の向上を目指している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伊豆の国市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、届出対象行為に該当する全ての建築・工作物について、行為の制限を設けた。また、制定した屋外広告物条例では、特別規制地域や普通規制地域を設けて、広告物や掲出物件の設置に関する基準を明確化し、事業者に対し色彩基準等の啓発を行って屋外広告物指導事業を推進している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

伊豆の国市景観計画 土地利用基本方針

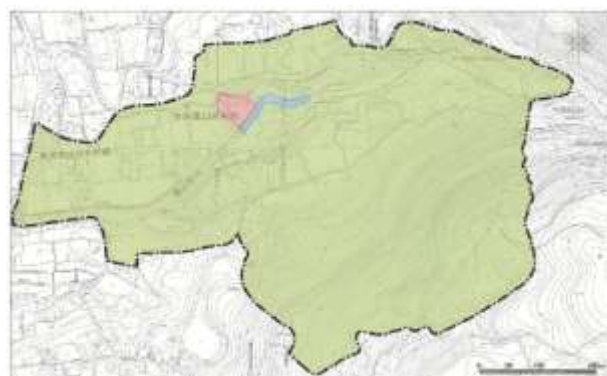
自然、歴史、文化、街並み等の多様な景観要素が市域全体に広がっていることから、良好な景観形成に関する取組みは市域全体で総合的かつ計画的に進めていく必要がある。このため、景観計画では「市域全体」を景観計画区域として設定している。



景観計画に規定した景観重点整備地区の範囲



- 史跡・釜山反射炉
- 釜山古川河川区域ゾーン
- 住区・森林ゾーン



世界遺産登録を受けた釜山反射炉周辺も含めた範囲を指定した

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	歴史まちづくり法に規定する重点区域として設定した「韭山反射炉・江川邸とその周辺地区」は、江戸時代の韭山代官所をはじめ長年にわたって、まちの拠点として機能してきた地区である。史跡韭山反射炉周辺は、「伊豆の国市景観形成基本計画」において、景観重点整備地区に指定されている。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
策定した景観計画では、韭山反射炉周辺地区を「景観重点整備地区」（特に先導的かつ重点的に景観形成を図る必要があると認める区域）として位置付けている。このため、韭山反射炉等と調和する街並み景観を創出を目的に、周辺の建築物・工作物の高さや形態、色彩等を誘導するとともに、屋外広告物の削減に努め、形態や意匠について誘導した。また、計画に位置付けた歴史的風致のエリア内の屋外広告物についても、適正な維持管理が行われるよう継続的に誘導を促した。 ●屋外広告物の改善状況：令和3年度は、景観重点整備地区をはじめ、その周辺区域も含めて自家広告物5件、野立て看板17件の合計22件が改善された。（参考：令和2年度、自家広告物19件、野立て看板9件の合計28件の改善）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

誘導実績事例（令和3年度）

誘導前



誘導後



韭山地域の広告整備地区内、韭山反射炉に通じる県道沿いに位置するコンビニエンスストアの自家広告物の色彩と形状について、是正を求める誘導を行った。

誘導前



誘導後



長岡地域の商業地域、普通規制（第2種）エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、是正を求める誘導を行った。

誘導前



誘導後



大仁地域の国道沿い、特別規制（第2種）エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、是正を求める誘導を行った。

	R 2	R 3
自家広告物	19件	5件
野立て看板	9件	17件
改善合計	28件	22件

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
江川文庫収蔵施設建設事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和元年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(重要文化財等(美術工芸品・民俗文化財)保存活用整備事業)
計画に記載している内容	公益財団法人江川文庫が所蔵する重要文化財葦山代官江川家関係資料・重要文化財江川家関係写真(合計約39,000点余)を適切に保存管理するための収蔵施設を建設する。

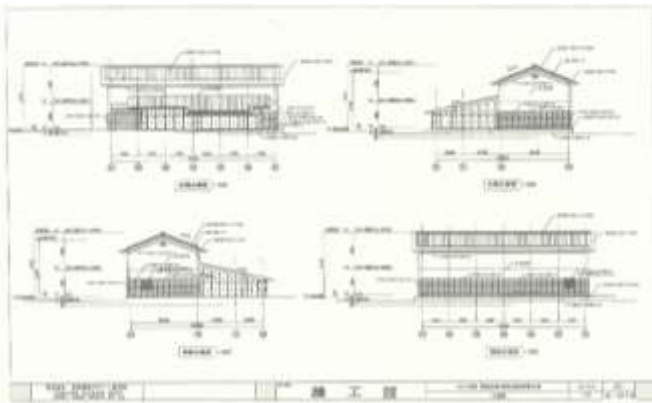
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江川文庫収蔵施設は令和元年9月竣工、令和2年10月に環境自主検査を行い収蔵に適切な環境であることが確認された。伊豆の国市は文化財の保存環境整備のための空調設備や虫菌害対策の打ち合わせを通じて、江川家資料等の保存管理体制の向上に寄与した。

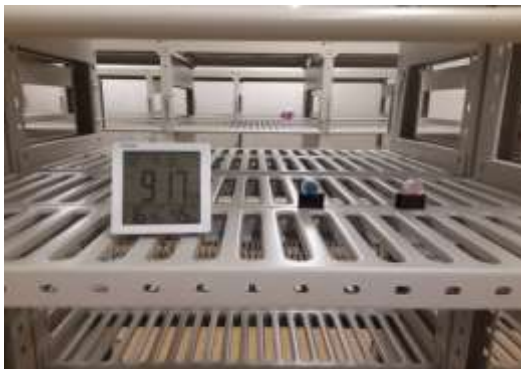
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

施設概要図



収蔵庫の仕様
 建設地: 静岡県伊豆の国市葦山葦山2番地4
 構造: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造2階建
 建築面積: 304.38㎡
 延べ床面積: 464.19㎡



環境自主検査の様子



環境自主検査の結果

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重点区域である江川邸周辺地区内に点在している歴史的風致形成建造物(葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の候補を把握するため下記の調査を実施した。

- ・平成29年9月20日、対象建造物の予備調査
- ・令和元年12月6日、対象建造物の確認調査
- ・令和2年度 指定に向けた体制整備について課内で検討
- ・令和3年度 江川家年中行事調査報告書を刊行

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和3年6月、これまでの江川家の民俗調査の結果をとりまとめた江川家年中行事調査報告書を刊行した。歴史的風致維持向上計画に記載している歴史的風致形成建造物(葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮)について、建造物の価値においては、歴史的風致形成建造物の指定基準を満たすものではないが、江川家の年中行事において使用されているという価値を有するものであり、これらの取扱については、今後の検討事項といえる。

状況を示す写真や資料等

令和元年12月6日歴史的風致形成建造物候補調査

調査者:伊豆の国市文化財保護審議委員 新妻淳子委員

調査対象:松山稲荷社、瀬田稲荷社、葦山稲荷社、明奉社、香山寺山門



建造物調査 明奉社



建造物調査 香山寺山門



江川邸内建造物配置図

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
史跡葦山反射炉保存修理事業・史跡葦山反射炉整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業【史跡葦山反射炉保存修理】) 文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業【史跡葦山反射炉】)		
計画に記載している内容	煉瓦部分の劣化が進行している葦山反射炉本体について、保存修理工事を実施する。史跡内に所在した製砲工場としての遺構について発掘調査を行い、成果に基づいて史跡整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
『葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画』(平成29年7月 伊豆の国市)に基づき下記の事業を実施した。 (1)保存修理事業 平成30年度 葦山反射炉保存修理基本設計の策定、令和元年度 葦山反射炉保存修理実施設計策定 令和2年10月1日～令和3年10月29日 葦山反射炉保存修理工事を実施 (2)発掘調査事業 令和3年5月19日～6月30日 葦山反射炉発掘調査を実施。調査結果は、現地説明会や展示を行い、市民等に周知した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	『葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画』に基づき実施する。 ※令和元年度から5か年で計画していた発掘調査は、令和3年度調査を以て休止し、調査結果のとりまとめを行う。令和8年度以降、発掘調査を再開予定。		
状況を示す写真や資料等			
			
葦山反射炉発掘調査現地説明		葦山反射炉保存修理工事 工事用足場を使った見学用ルート	
			
葦山反射炉保存修理工事 工事説明会		葦山反射炉保存修理工事 工事説明会	

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度 令和3年度	
項目 現在の状況	
無形民俗文化財記録作成事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の祭礼や伝統行事について調査を行うとともに、記録を作成する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
下記事業を実施したことで、市内の民俗文化財の継承に寄与した。 ・江川家の年中行事調査(令和元～2年度)、市内民俗調査(令和2～5年度)を計画 ・令和元年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を10回実施 ・令和2年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を1回実施 ・令和3年度、江川家年中行事調査報告書を刊行	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市内民俗調査は、コロナウィルスの影響により対象となる祭礼行事が中止となるものが多いため、コロナウィルス流行の終息後に調査を実施する予定である。
状況を示す写真や資料等	
江川家年中行事調査報告書 令和3年6月 静岡県伊豆の国市 江川家年中行事調査報告書 (令和3年6月発行) 編集・発行 市教育部文化財課 配布先 江川家、江川文庫、金谷区、庁内関係課、 県内図書館、県内県市町教育委員会、 市内公立高校・中学校 他 その他周知 市ホームページにて掲載	

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
地域に根付いている祭事に対する運営支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伊豆の国市で培われてきた祭事を維持し、継承していくため、開催支援を始め担い手の確保や育成を目的に必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
パンフレット「三番叟ガイド」を発行しPRを行ったことで、広く周知に寄与した。 令和3年度は、広瀬神社の三番叟は上演実施した。その他、多くの地区は、新型コロナウイルスの影響により、三番叟の奉納は中止及び配信での上演となったため、コロナウイルスの流行終息後支援を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		支援を受けられる祭礼の定義について検討を行う必要がある。	

状況を示す写真や資料等



大仁 大仁神社 三番叟出演者



田京 広瀬神社 三番叟上演の様子



パンフレット『三番叟ガイド』



原木 荒木神社 三番叟の様子

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
(重文)葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和5年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業) 文化資源活用事業費補助金(美術工芸品美観向上整備事業)		
計画に記載している内容	重要文化財に指定されている「葦山代官江川家関係資料」の書画・古文書・典籍等を適切に保存・活用するため、保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 江川家資料の保存・活用のために下記事業を実施したことで、文化財の価値の維持に寄与した。 令和3年度 葦山代官江川家関係資料 保存修理事業 8点 美装化事業700点 伊豆の国市は上記の事業について、国県補助事業の事業指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		対象資料の選択、年次計画及び公開活用について、所有者と協議を行い継続的な実施につなげていく。	

状況を示す写真や資料等



美術工芸品保存修理事業の確認作業



美装化事業の作業立会

評価軸③-7

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
史跡葦山役所跡保存活用計画策定事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和5年度	
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(重要文化財(建造物)保存修理事業、史跡等保存活用計画策定事業)	
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡について、適切な保存と維持管理及び活用のための方針・手法・現状変更の取扱基準等を定める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 計画策定への着手準備として、所有者である江川家及び(公財)江川文庫と史跡、建造物、美術工芸品に関する打合せを実施し、現状や課題等を確認した。把握を通じて特に緊急性が高い主屋、書院、仏間の屋根について、令和3年6月に保存修理工事実施の方針を決定し、令和3年9月から事業実施に結びつけた。打ち合わせ回数10回。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡葦山役所跡には史跡のほかに建造物、美術工芸品が存在しており、美術工芸品の保存活用施設への移転、建造物の保存修理事業など計画している事業相互の調整の課題がある。これら事業計画を所有者と協議し、史跡の保存活用計画の策定を行うこととする。	
状況を示す写真や資料等		
 協議範囲: 史跡葦山役所跡  重文 江川家住宅建造物保存修理事業(主屋銅板葺解体)  重文 江川家住宅建造物保存修理事業(主屋銅板葺作業)		

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和7年度
------	--------------

支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業) 文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業)
-------	---

計画に記載している内容	史跡内における北条氏邸及び円成寺に関わる遺構の復原・遺構表示などの整備を行い、史跡が持つ歴史的価値を体感できる空間を整備する。合わせて、守山中世史跡群として把握され、隣接して存在する伝堀越御所跡、願成就院跡の保存・整備についても進める。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
史跡北条氏邸跡(円成寺跡)の適切な保存・活用のため下記の事業を実施した。 ・令和元年9月 「史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡保存活用計画」策定 ・令和2年度 「史跡北条氏邸跡整備基本計画策定」、史跡北条氏邸跡暫定整備 ・令和3年度 基本設計に向けた検討	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	R2までは計画通り進捗しているが、R3以降は、コロナウィルスの影響による収収減、市財政状況により整備事業の延期の可能性がある。(R3年度は整備事業を見送っている。)

状況を示す写真や資料等

守山中世史跡群整備年次計画

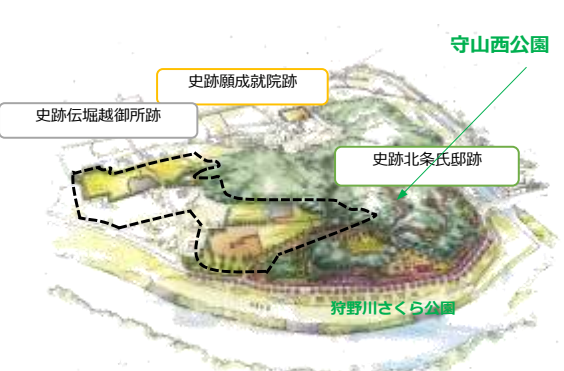
		前期基本計画期間						後期基本計画期間		
		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)～
北条氏邸跡 (円成寺跡)	1期	基本計画	基本設計	実施設計→	基盤整備工事	円成寺跡遺構 展示エリア整 備工事			供用 開始	活用事業→
					実施設計→		北条氏邸跡遺 構展示エリア 整備工事			
						実施設計→	サイン整備 工事			
	2期		発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査 報告書		後期 基本 計画 策定	後期整備期間→



守山中世史跡群整備部会の開催

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
史跡公園整備事業「守山中世史跡群」PFI事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和4年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	守山中世史跡群では、歴史・文化を活かしたまちづくりが期待されていることから、計画に位置付ける歴史的風致の一つとして今後の維持及び活用が求められる区域である。史跡及び周辺地域での整備・活用について、PFI事業の可能性を検討し、その結果を踏まえて史跡公園を整備する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 市では、平成28年度に歴史的価値のある文化資源を官と民がパートナーを組んだ事業展開の可能性調査を行った。調査対象の状況では現時点で相応の収益可能な施設がないことから、コンセッション方式による事業化は困難であり、コスト削減効果のあるPFI-BTO方式の導入可能性があるとの結果に至った。その後、対象地域である史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存活用計画を令和元年度に策定した。また、史跡北条氏邸跡(円成寺跡)整備基本計画を令和2年度に策定した。今後、基本設計を作成する際に、PFI事業の導入可能性について改めて検討する。 令和3年度は、市が史跡整備の計画を進めている国指定史跡北条氏邸跡(円成寺跡)を4月1日から暫定的な園路と解説板を整備して一部公開した。また、令和4年1月から放映の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となる守山西公園は、多くの訪問者が見込まれるため、公園内の補修整備を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存活用計画の方針を踏まえ、今後、PFI事業の導入に関する収益施設の設置条件等の課題整理を行い、調整協議する。	
状況を示す写真や資料等		
平成28年度～平成29年度 歴史・文化資源活用手法調査事業民間資金等活用可能性調査の実施 ～歴史的文化資源の保護から活用へ～ 官民連携による事業展開の模索 ↓ 平成30年度～令和元年度 史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存活用計画の策定 ～活用方針の位置づけ～ 具体的な整備の方向性の整理 ↓ 令和2年度 「史跡北条氏邸跡整備基本計画策定」 		
 史跡への園路整備  解説板設置		
令和2年度 史跡解説板設置及び整備		
令和3年度 ～啓発事業実施～ 史跡北条氏邸跡(円成寺跡)一部公開		
 遊歩道の改修整備  看板撤去(写真は撤去前)		

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
葦山城跡総合調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業)		
計画に記載している内容	現在未指定である葦山城跡の国史跡指定を目指し、その本質的価値を明らかにするため、総合調査(発掘調査、文献調査、地形測量、縄張調査、古道調査)を実施する。調査については伊豆の国市史跡等整備調査委員会葦山城整備部会委員の指導を受けて実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
葦山城跡の保存活用のため下記の事業を実施した。 ・発掘調査 令和元年度 本城二ノ丸1箇所、令和2年度 追越山付城跡確認調査 1箇所 ・文献調査 令和元年度 市内2箇所、令和2年度 市内1箇所、令和3年度 市外1箇所 ・地形調査 平成30年度 付城跡測量調査 1.07km ² ・縄張調査 令和元年度 付城跡1箇所 ・葦山城部会開催 平成30年度3回、令和元年度2回、令和2年度2回、令和3年度2回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		史跡指定や調査事業の実施にあたり、地権者との合意形成を行いながら実施する。城跡や付城跡の大部分は民有地にあり、関係者間で史跡指定や調査事業の実施についての共通認識を図り、事前事後に調整を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 令和3年度 第1回葦山城跡整備部会			
 令和3年度 葦山城跡関係古文書調査			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手

事業期間	令和5年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財江川邸と葦山反射炉を結ぶ南北の道で、道路愛称「坦庵公思索の道」と名付けられている自然豊かな歴史の散歩道にふさわしい景観とするために、周辺の風景に調和した道路の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度 道路状況の調査、周辺景観の調査を実施した。また、観光地エリア景観計画との整合を図りながら道路景観等の課題を整理し、美装化に向けた整備方法等を検討した。

令和2年度 江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化に向けて、整備手法の検討の他、防護柵や案内サイン等の付帯工事の内容を確認し、概算整備費の算出を行った。

令和3年度 事業実施に向けた予算確保困難であり、優先する他の道路改良及び維持補修事業等を先行している状況である。

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



坦庵公思索の道(現状)
葦山代官江川英龍ゆかりの江川邸・葦山反射炉界隈の営みにみる歴史的風致(重点区域)



坦庵公思索の道
(道路美装化イメージ)



観光地エリア景観計画 エリア範囲図



坦庵公思索の道



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業	現在の状況	☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手

事業期間	令和2年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡や葦山反射炉の北側では、富士山を望むことができることから、歴史的風致とその周辺の景観を阻害する電柱の撤去や移設を行う。

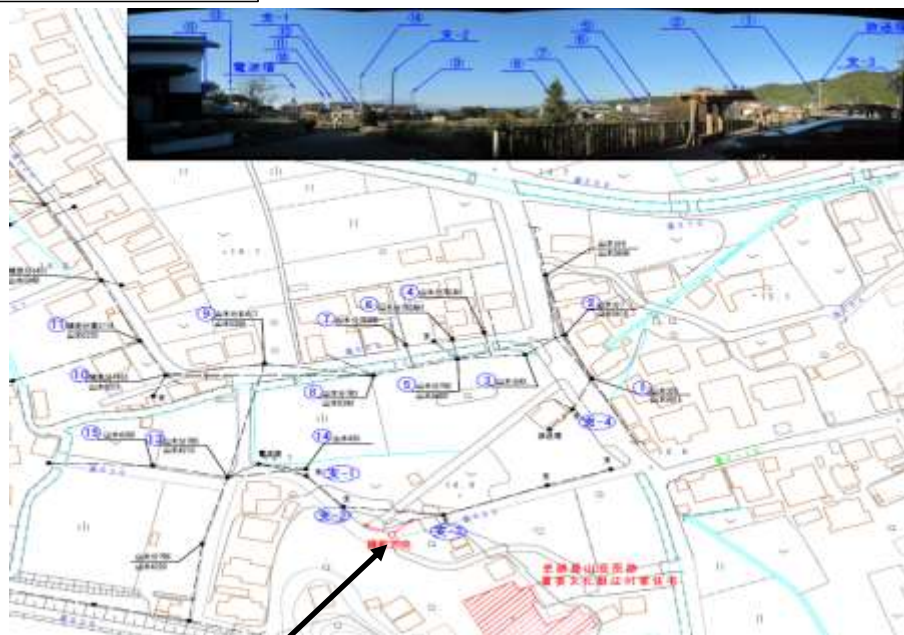
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和元年度 電柱・電線の状況調査の実施(無電柱化範囲の検討、無電柱化手法比較検討、概算事業費算定及び事業スケジュール等)また、策定した観光地エリア景観計画との整合性を図りながら景観を阻害する電柱の撤去・移設事業の推進を検討した。
- ・令和2年度 江川邸周辺部の無電柱化に向けて、景観の阻害となる電柱の現況調査を行ったほか、整備手法の検討と概算整備費の算出を行った。
- ・令和3年度 事業実施に向けて、財政当局に協議を行ったが、事業化への目途は立っていない状況である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスの影響により財政運営が厳しい状況にあり、予算確保が困難であるため、事業期間の見直しが必要である。

状況を示す写真や資料等

江川邸北側の電柱等の現況



周辺の景観形成
(江川邸裏門)
葦山代官江川英
龍ゆかりの江川
邸・葦山反射炉
界隈の営みにみ
る歴史的風致
(重点区域)



観光地エリア景観計画 エリア範囲図

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業	現在の状況	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	令和5年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	道路愛称事業で、「温泉場出逢い通り」と名付けられている長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市では、平成28年度より、市道長215号線(温泉場出逢い通り)の舗装工事を継続的に実施している。令和2年度は、未改修となっていた長岡リハビリテーション病院までのL=460mの舗装工事を実施し、道路の美装化を図った。また、道路の美装化に関連して、順大病院前から市役所方面の県道の歩道幅が狭いため、歩道拡幅整備を県が実施している。なお、観光地エリア景観計画で位置づけた道路景観等の整備方針に基づき温泉街に相応しい美装化に向けた整備方法等も検討していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



L=460m舗装工事の実施状況



温泉場の中心を通る道路

温泉場出逢い通り
伊豆長岡温泉にみる歴史的風致

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
現在の状況			
民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業、既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業補助金 他
計画に記載している内容	歴史ある温泉街の風景として維持し、活用につなげることやアイデンティティーの維持形成を図ることを目的に、温泉街の活性化に向けた建造物の保存等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年8月設立したエリアプラットフォーム「伊豆長岡温泉ミライ会議」は、令和3年3月に「伊豆長岡温泉未来ビジョン」を策定。「温泉のある暮らし」をテーマに4つのまちづくりコンセプトを設定した。策定した未来ビジョンを推進していくため、令和3年6月にミライ会議参画団体を中心に「一般社団法人伊豆長岡温泉エリアマネジメント」を設立。また、伊豆長岡温泉未来ビジョンをもとに同法人と市と協力し「伊豆長岡温泉観光拠点再生計画」を策定。観光庁補助金「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」を活用し、宿泊施設高付加価値化を推進した。平成27年度より開催されている温泉場お散歩市も、出店事業者50店舗以上となり、運営には高校生ボランティアなどを活用するなど賑わいを見せている。

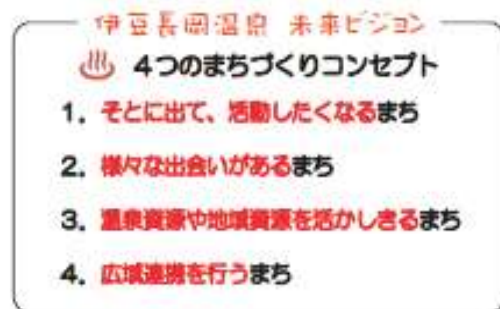
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	観光庁補助金を活用し取り組んでいるが、地域全体の活性化に向けての取り組み意識の共有が課題。参画事業者を増やすとともに、各種団体がビジョンを共有し、エリア外のプレーヤーとも協力しながら我が事(わがごと)として地域の課題を捉え、連携しながら主体的に取り組みを推進していくことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○ 伊豆長岡温泉目指す姿



○ 伊豆長岡温泉未来ビジョンまちづくりのコンセプト



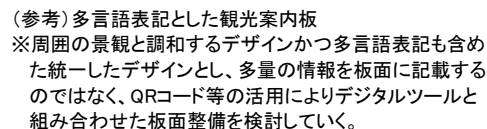
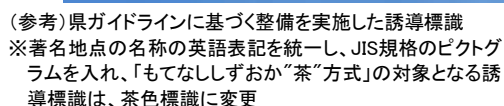
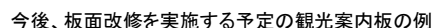
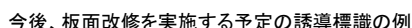
○ 温泉場お散歩市の様子



(各出典:伊豆長岡温泉ミライ会議資料)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等



伊豆の国市-18

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
市内民俗芸能・祭典等実施事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市の魅力や観光・歴史資源を生かした民俗芸能や祭典等を開催することによって誘客や歴史的資源及び伝統文化の継承を促し、観光交流客、宿泊客を増加させ、地域経済の活性化及び地域活力の向上を図ることを目的に伊豆の国市観光協会が行う次の事業へ補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伊豆の国市観光協会実施関係 令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大の影響を受けて、伊豆の国市観光協会が関わる各種イベントや伝統行事等は規模縮小や中止等を余儀なくされた。また、狩野川台風による水難者の慰霊のために開催する葦山狩野川まつりは、イベント自体を中止とし、慰霊祭の開催と小規模な慰霊の花火を打ち上げた。 鶴ばらい祭は、予定どおり1月に開催し、中学生による鶴の踊り、太鼓や芸者の踊りの披露などを実施した。 観光地エリア景観計画関係 計画方針として、歴史・文化資源の見える化とネットワークづくりが位置づけられている。今年度は、周遊促進のため、伊豆の国の歴史資源などを紹介する冊子などを発行するとともに、歴史・文化資源を活用した市内周遊の推進に取り組むとともに、地域の皆さんの活動を支援している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
鶴ばらい祭の様子   令和4年1月30日(日)開催 場所: 湯らつく公園  景観目標と景観づくり方針 (観光地エリア景観計画(温泉景観エリア))  令和3年10月2日狩野川台風犠牲者慰霊祭		

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
市民組織の活動費補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	「葦山反射炉を愛する会」は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である葦山反射炉の遺産価値や江川坦庵公を愛する人が集い、ともに学びその輪を広げることを目的とした会であり、その活動費を市が補助する。また、葦山反射炉の普及啓発・広報活動を市と協力して実施している「伊豆の国歴史ガイドの会」等の市民組織を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民組織活動支援のため下記の事業を実施。
 ・補助事業 補助金1団体(葦山反射炉を愛する会)
 ・支援事業 活動支援2団体(伊豆の国歴史ガイドの会、外国語ガイドの会)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	ガイド団体は、既存会員の資質向上、新規会員の加入に課題があり、その部分で支援を行う。

状況を示す写真や資料等

●補助事業

団体名	活動内容
葦山反射炉を愛する会	葦山反射炉ポロシャツ・教材の作成・販売、俳句と短歌募集・表彰、葦山反射炉清掃活動。

●支援事業

団体名	支援内容
伊豆の国歴史ガイドの会	市内歴史ガイドに対する支援。市内文化財関係講習会の開催、市職員が定例会へ出席し文化財の情報周知を行う。 市広報にて会員募集記事掲載
伊豆の国外国語ガイドの会	葦山反射炉ガイドに対する支援。市広報にて会員募集記事掲載。



葦山反射炉を愛する会による
顔出しパネルの展示



伊豆の国歴史ガイドによる
入館者へのガイド活動

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解する上で必要不可欠なものであるため、必要な調査を行い、価値が認められたものについては市指定や国の登録制度の活用を検討することで適切な保護を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未指定の文化財の把握と、指定文化財の適切な管理のために下記の事業を行った。 ●文化財調査 北條寺文書調査、既指定文化財の見直しに伴う調査。 ●文化財指定 市指定文化財 北條寺文書 新規指定1件 ●文化財保存活用地域計画の策定 「伊豆の国市文化財保存活用地域計画」策定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
市指定文化財 北條寺文書			
			
北條寺文書調査			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人びとに文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組が重要である。市内外の人々を対象とする普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により実施する。 ・防災教育や訓練は、文化財の所有者等に対して、防災に係る周知啓発と防災教育に取り組み、文化財防火デーには、各地の消防団や自主防災組織と連携して、文化財施設での通報訓練や初期消火訓練を実施する。地震対策としては、耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。 ・各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民が主体となるような文化財保護活動を進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
住民の文化財への意識の向上と市内外の人々の文化財の認知のために下記の事業を実施した。 ・文化財に関する普及 ・啓発の取組(文化財シンポジウム1回、県内世界遺産PRイベント2回、北条義時連続講座3回、市民講座3回、朗読のゆうべ1回、歴史まちづくりカードの配布2,129枚:2020年12月末現在) ・防災訓練の取組(市内文化財施設における防災訓練1回) ・民間団体への助成・支援や連携・協力した取組、民間団体が実施した取組(文化財保護事業に対する補助4件、民間団体の取組み2件)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
●文化財に関する普及・啓発の取組		
実施内容	実施日	内容
火起こし体験学習	令和3年4月～7月	学生を対象としたマイギリ式の火起こし体験を実施
北条義時連続講座	令和3年5月15日、5月30日、6月5日	市民等を対象とした北条義時について学ぶ講座を実施
郷土資料館企画展	令和3年10月1日～11月28日	北条家関係の出土品、源頼家公病相の面、豆塚神社所蔵文化財を特別公開
	令和3年10月1日～11月28日	源の頼朝・八重姫に関する絵画の展示
郷土資料館ワークショップ・ギャラリートーク	令和3年10月23日、10月30日、11月14日、12月18日、令和4年1月29日	郷土資料館の企画展に関連する講座を実施
葦山反射炉ガイダンスセンター企画展	令和3年4月～令和4年3月	葦山城発掘調査関係の展示、市内文化財活動団体の展示、北条義時と市内史跡等に関する展示、葦山反射炉の発掘調査結果の展示等
葦山反射炉発掘調査現地説明会	令和3年6月12日	葦山反射炉の発掘調査成果の説明会
葦山反射炉修理工事現場見学会	令和3年10月9日	葦山反射炉の修理工事に関する現地見学会を開催
県内世界遺産PRイベント	令和3年11月13日 令和3年12月11日	葦山反射炉の認知度向上のため、静岡県中西部商業施設にてイベントを開催。
葦山反射炉講座	令和4年2月20日	葦山反射炉に関する講演会を開催
文化財シンポジウム	令和4年2月23日	葦山城に関するシンポジウムを開催
文化財市民講座「伊豆の国市の歴史を辿る」(入門編)	令和4年3月5日、3月12日、3月19日	当市の古代から幕末期までのさまざまな時代の歴史文化資源について、市民を対象に3回に渡り講座を実施
朗読のゆうべ	令和4年3月26日	いずのくに大使大塚良重さんによる朗読のゆうべを開催
●防災訓練の取組		
実施主体	実施日	対象文化財
江川文庫	令和4年1月19日	重要文化財江川家住宅、史跡葦山役所跡 他
●民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		
団体名	実施日	内容
葦山反射炉を愛する会	令和3年10月31日	葦山反射炉清掃活動を実施した。
 伊豆の国市郷土資料館の企画展チラシ  火おこし体験(小学生)  江川家住宅保存修理事業見学会		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	・所有者・管理者が行う日常的な点検により、文化財建造物の損傷の早期発見に努めるとともに、必要に応じて所有者等の意識向上を目的とした適切な助言を行う。 ・文化財の周辺環境は、文化財の価値にも影響を及ぼす恐れがあるため、文化財の保存・活用を図るうえでは、文化財だけに措置を講ずるだけでなく、その周辺環境を含めて取り組むことが重要である。 ・有形文化財は、火災や地震、落雷、水害、台風等の災害により、き損や滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●文化財の修理事業 重要文化財葦山代官江川家関係資料保存修理事業、重要文化財葦山代官江川家関係資料美装化事業、重要文化財江川家主屋他2棟保存修理事業、国宝木造阿弥陀如来坐像運慶作美装化事業 ●文化財の周辺環境の整備事業 史跡伝堀越御所跡内に自生した多数の竹や地下遺構に影響する恐れのある樹木を伐採した。 ●防災、防犯に関する事業 文化財防火デーに合わせての防火訓練実施の呼びかけをした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



江川家主屋保存修理における
屋根の葺き替え施工の様子



江川邸内における文化財防火訓練

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
文化財通信		毎月	市広報誌
北条氏邸跡(円成寺跡)一部公開開始		令和3年4月27日	毎日新聞(朝刊)
北条義時連続講座開催		令和3年5月2日	静岡新聞(朝刊)
韭山反射炉発掘調査現地説明会開催		令和3年6月9日	伊豆日日新聞
北条義時がうまれた里『伊豆の国』の中世開催		令和3年9月14日	伊豆日日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財通信として毎月記事を掲載することで、市内外への周知とともに歴史的資源のPRに繋がった。また、祭事やイベントが新聞等のメディアに取り上げられることで、市民の文化財に関する関心が高まった。 当市も加盟する中部歴まちでは、今後のアフターコロナを見据え、中部の歴史まちづくりを広くPRし、地域活性化につなげていくため、SNSを通じた情報発信の投稿を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
 広報いずのくに 令和3年4月号  広報いずのくに 令和3年11月号  SNSを活用した Instagram   ・令和2年10月から実施してきた韭山反射炉保存修理終了のお知らせ ・歴史的資源を活用したイベントやいずのくに観光周遊バスの案内			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目		評価対象年度																																			
住民の意識向上		令和3年度																																			
計画に記載している内容	本市の文化財は、これまで活用が十分でなかった面もあり、市内外の人びとへの普及・啓発についても十分とはいえない状況にある。このため、文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人びとに文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組みが重要である。																																				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																					
文化財の存在や理解を促す機会を提供するために下記の事業を実施した。 ・文化財シンポジウム ・学校教育との連携、出前講座 ・大河ドラマ推進事業との連携																																					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																				
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし																																					
状況を示す写真や資料等																																					
●伊豆の国市文化財シンポジウム参加者数と市民の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施内容</th> <th>参加人数</th> <th>市民参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年</td> <td>「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」</td> <td>460</td> <td>38.46%</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」</td> <td>439</td> <td>37.36%</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>宗瑞打ち入り茶々丸たいへん</td> <td>350</td> <td>40.50%</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会</td> <td>140</td> <td>59.29%</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>北条義時連続講座(3回開催)</td> <td>534</td> <td>58.24%</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>韮山反射炉講座(2/20開催)</td> <td>120</td> <td>75.00%</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>上杉謙信逝く 韮山城が戦場になるのはなぜ?(2/23開催)</td> <td>177</td> <td>53.11%</td> </tr> </tbody> </table> 文化財シンポジウムは、市の歴史の事象や文化財にスポットをあてて年1回程度実施している。市の歴史文化を理解してもらうため、シンポジウムを通じて市内外に情報を発信している。市民の参加割合は40～50%程度を維持しており、近年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、遠方からの参加が少なかった為、50～75%程度の市民参加割合となった。			年度	実施内容	参加人数	市民参加割合	平成29年	「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」	460	38.46%	平成30年	「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」	439	37.36%	令和元年	宗瑞打ち入り茶々丸たいへん	350	40.50%	令和2年	韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	140	59.29%	令和3年	北条義時連続講座(3回開催)	534	58.24%	令和3年	韮山反射炉講座(2/20開催)	120	75.00%	令和3年	上杉謙信逝く 韮山城が戦場になるのはなぜ?(2/23開催)	177	53.11%			
年度	実施内容	参加人数	市民参加割合																																		
平成29年	「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」	460	38.46%																																		
平成30年	「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」	439	37.36%																																		
令和元年	宗瑞打ち入り茶々丸たいへん	350	40.50%																																		
令和2年	韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	140	59.29%																																		
令和3年	北条義時連続講座(3回開催)	534	58.24%																																		
令和3年	韮山反射炉講座(2/20開催)	120	75.00%																																		
令和3年	上杉謙信逝く 韮山城が戦場になるのはなぜ?(2/23開催)	177	53.11%																																		
●学校教育との連携 韮山反射炉の理解増進及び文化財愛護の精神を啓もうするため、毎年、市内中学校1年生を対象に「韮山反射炉検定」を実施しており、令和3年度はWeb方式により実施し、計551人が受検した。 (令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校カリキュラムの変更等により、本検定を実施できなかったため、令和3年度は、各学校に2年生の受検についても促した。) <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施日(期間)</th> <th>受検者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>韮山中学校</td> <td>令和3年10月22日 令和3年11月30日</td> <td>309</td> <td>2年生も受検</td> </tr> <tr> <td>長岡中学校</td> <td>令和4年1月13日</td> <td>128</td> <td>出前講座(12月9日)</td> </tr> <tr> <td>大仁中学校</td> <td>令和3年11月25日</td> <td>104</td> <td>出前講座(11月25日)</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	実施日(期間)	受検者数	備考	韮山中学校	令和3年10月22日 令和3年11月30日	309	2年生も受検	長岡中学校	令和4年1月13日	128	出前講座(12月9日)	大仁中学校	令和3年11月25日	104	出前講座(11月25日)																			
学校名	実施日(期間)	受検者数	備考																																		
韮山中学校	令和3年10月22日 令和3年11月30日	309	2年生も受検																																		
長岡中学校	令和4年1月13日	128	出前講座(12月9日)																																		
大仁中学校	令和3年11月25日	104	出前講座(11月25日)																																		
●大河ドラマ推進事業との連携 2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送により、北条氏をはじめとする当市の史跡等が注目されることを好機と捉え、市民等への歴史教育・情報発信として、地域等の要望に応じて各種講座を実施し、延べ2200人超が受講した。 (新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、8月以降の出前講座の実施回数は減少) (市内で実施した出前講座の実施数) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座(地域 *1)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出前講座(学校 *2)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>出前講座(団体 *3)</td> <td></td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他 *4</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> (令和4年1月31日現在) *1) 市内の各区からの要望に応じて実施したもの *2) 市内の小中学校からの要望に応じて実施したもの *3) 市内の観光団体や商工団体等からの要望に応じて実施したもの *4) 市が主催する資料館講座や生涯学習講座等で実施したもの				4月	5月	6月	7月	8月	9月以降	出前講座(地域 *1)	1	2	1				出前講座(学校 *2)	1	2	1	1		5	出前講座(団体 *3)		3	1	2		4	その他 *4		2				5
	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降																															
出前講座(地域 *1)	1	2	1																																		
出前講座(学校 *2)	1	2	1	1		5																															
出前講座(団体 *3)		3	1	2		4																															
その他 *4		2				5																															

評価軸⑥-2

その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

文化財の保存及び活用に向けた普及・啓発の必要性

計画に記載している内容

重点区域内に分布する文化財の普及・啓発に係る取組みを推進することは、歴史的風致を維持及び向上させる上でも重要である。普及・啓発の方法としては、訪れる人々の周遊を促すためのパンフレット・マップを配布するとともに、普及・啓発のためのイベントを実施するなどして、より身近に文化財を感じてもらう機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市の歴史的風致を多くの方々に知っていただくため、韮山反射炉をはじめ市内の歴史資源の情報をQRコードを通じて入手できる歴史まちづくりカードを希望者に配布している。観光協会が運営する伊豆長岡駅前観光案内所は、鉄道利用者をはじめ、車で移動する観光客も立ち寄る情報発信の拠点であり、本市の歴史文化情報の発信は、交流人口の拡大に向けて観光施設と歴史文化施設の回遊性を高めるために必要な周知方法と捉えている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

国土交通省中部地方整備局管内の認定都市が連携して、歴史まちづくりカードを活用したカードラリーを実施した。今後も歴史資源の情報発信ツールの一つとして更なる活用の方法を検討する。

状況を示す写真や資料等

来場者数の推移と歴史まちづくりカードの配布状況

場所：伊豆長岡駅前観光案内所

年 月	人数	歴まちカード配布数(枚)	年 月	人数	歴まちカード配布数(枚)	来場者増減比
R2 4月	254人	8	R3 4月	724人	108	470人
5月	121人	3	5月	790人	112	669人
6月	481人	26	6月	509人	81	28人
7月	598人	111	7月	599人	278	1人
8月	1,050人	239	8月	559人	72	-491人
9月	950人	210	9月	453人	11	-497人
10月	1,211人	236	10月	849人	121	-362人
11月	1,392人	217	11月	1,947人	195	555人
12月	850人	159	12月	1,956人	205	1,106人
R3 1月	523人	101	R4 1月	2,050人	444	1,527人
2月	631人	141	2月	1,610人	94	979人
3月	969人	140	3月			-969人
合計	9,030人	1,591	合計	12,046人	1,721	3,016人

令和3年度の取組

市では、令和4年1月から大河ドラマの放映が決定されることにより、当市への来訪者が見込まれることを予想して歴まちカードを15,000枚増刷した。

令和3年度の評価

前年度に続き令和3年度についても、新型コロナウイルスによる行動制限が長引き影響を受けた。前年度を上回る月もあれば、令和元年度から半減した前年度を下回る月もみられる状況であった。

統計では、大河ドラマが放映される前の11月頃から、観光案内所に訪れる数が上昇してきた。



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:令和3年度第4回伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時:令和4年3月11日(金) 15:00～16:30 於:あやめ会館2階会議室	
(コメントの概要)	
【①組織体制】 特になし 【②重点区域における良好な景観を形成する施策】 ・景観への取組は、成果として見えてくる。なお一層、当市の歴史文化資源と調和する景観への環境整備を進めていただきたい。 ・市でも長期的に考え、道路沿い民家の表玄関となる部分だけでも建築物の建築・工作物の促進が図れるような施策や取組を検討してほしい。 【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 ・評価軸③－9史跡公園整備事業:市では、北条氏邸史跡にクリアパネル展示してあるが、並行に静岡県などデジタルQRコードの読み込みでバーチャル的解説もしている。観光客からは、アナログで見せる手法について大変好評な評価をいただいている。 ・評価軸③－11江川邸と韭山反射炉を結ぶ道路の美装化事業で計画している韭山反射炉から江川邸を結ぶ道路は、訪れた方には分かりにくい。 ・評価軸③－12重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業:電線の地中化は、まだ未着手になっているが、当市の重点地区であるため、ぜひ江川邸の裏門からきれいな富士山が見えるよう計画を実施していただきたい。 ・評価軸③－15公共サイン整備事業は、主要な観光施設(韭山城及び蛭ヶ島公園等)への案内看板が不十分である。 ・評価軸③－17市民組織の活動費補助事業:韭山反射炉の茶畑からの眺望は、ユネスコに認定されている南アルプスのユネスコエコパークが見える。韭山反射炉、富士山、南アルプスの3つが見える鳥瞰図があるといい。 【④文化財の保存又は活用に関する事項】 特になし 【⑤効果・影響等に関する報道】 特になし 【⑥その他(効果等)】 ・評価軸⑥－2普及・啓発の必要性:伊豆長岡駅前観光案内所で配布する歴まちカードは、観光客から評判が良い。来年度は、歴史に興味のある方が増える年だと感じている。 ・その他として、鎮守の森の管理として、本計画に天然記念物の市指定がある。民間敷地にも多くの樹木がある。景観の観点からも樹木の価値が大切になってくるため、長期的に取組んでもらいたい。 【全般に関すること】 ・大河ドラマなどの影響で市民にも当市の歴史に対する関心度が高まっている。これらの機運を契機に引き続き当計画の事業推進に取り組んでもらいたい。 ・本計画を実施するための予算確保が大変厳しい状況ではあるが、引き続き予算確保をお願いしたい。	
(今後の対応方針) ・令和4年度は、中間評価の年となる。また、協議会委員の任期満了による役員改選がある。 ・計画策定から5年を経過する。今後必要に応じて計画した事業の見直しや修正も視野に入れて検討を進める。	